

令和2年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	文化産業観光部文化振興課
施設名称	5	東京都台東区立一葉記念館	指定管理者	公益財団法人台東区芸術文化財団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	R2.4.1 ~ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 樋口一葉は、龍泉寺町に住み、その体験を基に『たけくらべ』を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区竜泉3-18-4 [規模] 延床面積 861.04㎡ RC造 地上3階地下1階 屋階 研修室、倉庫、エントランスギャラリー、事務室、展示室、収蔵庫、設備室など
(3)	[委託事業] 樋口一葉に関する資料を展示公開、施設の利用に関する事業。施設、付帯設備の保全、調達。施設使用料徴収など。 [自主事業] 施設特別展・企画展、一葉祭(記念講演・朗読、ボランティアと行く「たけくらべ」ゆかりの地めぐり)、特別講座、朗読会、くずし字解説講座、文学講座など
(4)	[利用者] 全来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 休館日(月曜日、年末年始、特別整理期間等)を除く。 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
(6)	[人員体制] 6名 (内 訳) 常勤固有職員(1) 研究員(1) 派遣職員(1) 再雇用区政嘱託員(1) 特例嘱託員(2) (前年増減) 増減なし(特例嘱託員1名増、研究員1名増、非常勤専門員2名減)

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料(指定管理料)	16,595,000	14,831,765	17,270,000	15,277,034
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入()	0	0	0	0
	計	16,595,000	14,831,765	17,270,000	15,277,034
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	4,692,000	4,691,115	4,617,000	4,616,102
	維持管理費(委託料・賃借料)	9,613,000	8,599,796	9,550,000	8,643,611
	修繕費	713,000	488,160	415,000	318,272
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(印刷製本費等)	1,577,000	1,052,694	2,688,000	1,699,049
	計	16,595,000	14,831,765	17,270,000	15,277,034
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
開館日数	日	292	295	296	264

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
入館者数	人	4,790	15,738	14,317	12,242

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
-	

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
19 / 20 点	概ね適正であるが、危機管理対策について一部不十分な点が見られた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	事業計画書に則り予定通り自主事業を実施した。また、区、一葉協賛会、地元町会等の関係団体と適宜連絡を取り、適切に調整を行っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	施設の修繕については、区への連絡が迅速かつ適切であった。備品管理に一部不手際があった。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	入館者の声を踏まえた取組みを更に進め、特別展等の内容を充実するなど、サービス向上に取り組む必要がある。
(5) 収入支出	
18 / 20 点	経費節減に努め、適正に予算の執行がなされていると思われるが、入館料数の減が続いている。新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館の影響もあるが、入館者数増に向けた更なる工夫が必要である。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (91 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>施設紹介小冊子の作成やデジタルサイネージの活用など、館のPRに努めた。平成30年度より入館者数が減少している状況にあるため、更なる入館者数増の取組みが必要である。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>アンケートの実施や施設紹介小冊子作成などを行ったが、入館者の声を踏まえた更なる取組みの充実が必要である。備品管理や危機管理対策などを適切に行っていくとともに、更に入館者サービス向上に努めていく。</p>